

令和 8 年度上市町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録

日 時 令和 8 年 9 月 28 日（月）午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分まで

場 所 上市町役場 4 階大ホール

出席者 井上委員、小柴委員、佐渡委員、瀬川委員、高島委員、田中委員、中田委員、野越委員、平井委員、三輪委員、村上正委員、森委員、安井委員、山川委員、山崎委員、湯上委員、横山委員、吉田委員

欠席者 酒井委員、中村委員

事務局 小竹副町長、牧田教育長、黒田総務課長、川口企画課長、黒田財務課長、田中町民課長、松本福祉課長、碓井産業課長、酒井建設課長、広島会計管理者、小柴課長代理、金盛学校建設室長、細川議会事務局長、廣田かみいち総合病院事務局長

【庶務】企画課企画班：青木課長代理、荒井係長

傍聴者 1 名（報道関係者）北日本新聞、企画課広報担当

次 第 1 開会

2 あいさつ（上市町副町長 小竹 敏弘）

3 会長及び副会長の選任

4 審議

(1) 第 8 次上市町総合計画前期基本計画及び第 2 期総合戦略の実績報告について

(2) 第 8 次上市町総合計画後期基本計画及び第 3 期総合戦略について

(3) 上市町 S D G s 推進事業について

(4) 審議委員から町への意見・要望等

5 その他

6 閉会

事前配付資料

・委員（出席者）名簿 ・座席表

・資料 1 第 8 次上市町総合計画及び第 2 期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略実績報告書

・資料 2 第 8 次上市町総合計画後期基本計画及び第 3 期まち・ひと・しごと創生総合戦略概要版

・資料 3 上市町 S D G s 推進事業

議事等

1 開会、あいさつ、会長及び副会長の選任

審議委員 18 名が出席した。司会者の企画課長が開会を宣言し、本年度の審議会委員の選定方法と委嘱状交付に関する説明を行った。なお、委員の紹介は所属団体の役員交代によって昨年度から変更のあった次の 3 名を紹介した。

富山県知事政策局企画室、成長戦略課長 佐渡 洋伸委員（第 3 号委員）

富山信用金庫上市営業部 部長 山川 清之委員（第4号委員）

上市医師会 会長 中村 浩委員（第4号委員）

副町長より、「昨年度は皆様のご協力により「総合計画後期計画」と「第3期総合戦略」を無事に策定できたことに重ねて御礼申し上げます。現在、国内外の不安定な情勢に加え、当町でも義務教育学校の整備や施設維持、高校存続など多くの課題に直面しております。本日は限られた時間となりますが、「前期基本計画および第2期総合戦略の実績報告」と「後期基本計画および第3期総合戦略の今後の状況共有」の2点についてご報告しますので、皆様の立場で忌憚のないご意見をお願いします。」とあいさつを述べた。

司会者が、会長の選任について意見を募ったが特になかったため、昨年度に引き続き上市町公民館連絡協議会長の山崎委員を会長とする案を事務局が提案し、出席委員に了解を求め、了承された。

山崎会長は、上市町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会の設置及び運営に関する条例（平成2年3月26日条例第2号）第5条第4項に基づき、副会長に上市町区長協議会長の酒井委員を指名し、同条例第6条第1項に基づき、議長となって議事を進行することとなった。

2 各審議事項について

議長は、審議事項毎に事務局に説明を求め、事務局は配付資料に基づき説明した。

議長は、各審議事項毎に質疑がないか委員に確認したところ、どの審議事項についても個別に意見等はなかったが、全審議事項の説明終了後に発言を求めたところ、各審議委員から次のとおり意見があった。

<委員からのご意見>

委員

昨年の結果は結果でいいが、課題解決に取り組んでほしい。

我が社では、昨年から大阪の事業所から水の関係で、水道下水道の緊急時に対応できる施設、機械やパイプなど、うちの倉庫で、北陸3県分をやってほしいとのことで、新たな部門ができた。本社の大阪からきているが、地元の採用もやってくださいということで取り組んでいる。

委員

行政の皆さん、町民、各種団体が協働して、目標達成に向かって取り組んでいる結果、概ね達成しているところがたくさんあって皆さんの努力や連携がうまくいっていると感じる。ただし、不十分なところもあるので今後5年間では今まで通りのことではなく、さらに別の切り口から取り組み、皆さんを巻き込む等工夫が必要。例えば防災訓練はいつも低いような感じがする。訓練は、確かに大事なんです、その訓練の前に、集会だったり、講習会を小さい団体できめ細やかな勉強会が必要じゃないかと感じている。毎月開催しているハッピー上市会では消防署の方を招きプレゼンターとして防災や消防についてのお話をいただいた。地道に取り組んでいくことがまずは大事なんだと感じた。

委員

なかなかこのK P I というのを、施策と連携させ貢献したかどうかというのを確認するというのは本当に難しい。そうは言ってもそのK P I の数字でしか計れないものもあり、その辺の距離感が難しい。ある程度どうやったら計ることができるのかというのを常に考えながらやっていかないといけない。

実際に、実績と今回の計画等見てると数値が下がったところについては、スタートダッシュをするのに下がったものを基準に計画を立てているなと思って拝見していた。過去どうしてこんなに高かったんだろうと、例えば創業件数とか見ると、ちょっと疑問に思うところもあったが、過去高かった際の効果とか見えるところがあればそれに基づいて追いつくような状況まで進めていただければと思う。

委員

資料1を拝見してP3の2ヶ月児童訪問実施率について、ほかの自治体、富山県では92.3%となっていて100%設定は難しいのかなと感じるが、町の本気度が伝わる。

数値にこだわりすぎず、その都度、社会の急激な変化がある昨今なので実態、住民のニーズをとらえて実践・実行をしていくことが大切だと感じる。

義務教育学校について耳にするが、学校建設の費用の数字だけが目についてしまい、皆さん不安を口にする。未知なるものに対して、不安を感じている印象だ。

きめ細やかな丁寧な説明、未来の教育に希望を持てるような情報発信に努め、町民を安心させてもらいたい。ホームページには丁寧に紹介があったので、私も周りに伝えていきたい。

おおかみこどもプロジェクトをまだ引っ張るのかとも思ったが、細田守監督の原点のすべてを感じることでできる展覧会が東京・大阪・福岡で開催されており、来年富山でも開催される。この展覧会をきっかけに実際に聖地巡礼として上市や富山県を旅行先に選ぶという国内外のファンもいると聞き、実際富山県の観光客は増えている。

若い世代にSNSで上市町が上がって来るといふ人もいた。上市ならではの観光資源が大事だなと改めて今がチャンスだなと思っている。

委員

子どもたちにとって魅力的な町を目指してほしい。計画にはこどもまんなかの支援、切れ目のない支援とあり、未来の義務教育学校に入れる世代はいいが、今現在の保育所、小中高の子どもたちの遊ぶ場所の確保も大切であるため、全天候型遊具施設を少しでも早くつくっていただきたい。

私も足を運び、あさひの郷公園や丸山総合公園の様子を見てきたが、夏は暑くて人がいない。人気のふわふわドームにも誰もいない。しかし、氷見市の屋根付き施設では夏も冬も人がいる。屋根付きの遊ぶ施設を何とかできないものか。

もう1点、小中高生の学習室の確保について、生涯学習会館に足を運び視察してきた。2階には研修室として畳の部屋2部屋があるので、机とイスを用意するのはどうか。3階学習室は、受付で名前を書いて、なかなか入りづらい雰囲気であり、実際には使いにくいだろう。富山市には、手軽に気楽に即学習できる環境がいくつもある。

上市の場合、部屋が暗いので、机ごとに蛍光灯をつけるようにしたらどうか。20 席ならお金はそんなにもかからない。

今いる子どもたちが上市町を愛して、町にとどまり働きたい、と思うように育てるためには、今もやっているとは思いますがもっと環境を整えたほうがいい。予算確保については町の宝である子どもたちのためなら反対する人はいないと想像している。カミールなど工夫すれば学習室になる候補があると考えている。

最後に、広報の活用が大切だ。広報の中にいろんな意見を募集し実態を把握してほしい。スマホで一斉配信をしているが、子ども向けの配信をしても保護者から子どもには届いていないのではないか。紙媒体と電子媒体の両方の情報発信をお願いしたい。その紙媒体の予算は高くつかないと思っている。

委員

手術をかみいち総合病院でしたが、診療代金が高齢のせいか安くありがたかった。大変お世話になりありがとうございました。経営が大変と聞いているが、今後も住民のために経営をしっかりと行っていただきたい。

隣の家が空き家になっていたが、0 円空家バンク事業で他の市町村から入居がありうれしかった。これからも有効な企画を行ってほしい。

委員

資料3のSDGs推進事業について、初めて知った。イベントをやっていて、単純におもしろそうだと感じた。サポーター登録について団体や企業を巻き込んで上市町の発信をしていくと町の魅力が上がると思う。この制度を活用しながら面白いことをやっていければいいと思う。

委員

町役場の入口の意見箱について。投函した意見をだれが見ているのか？

(総務課長)

意見箱につきましては総務課で確認し、内容により担当課から町長まで回覧し回答をお答えしている。無記名についてはお答えできないが、記名がある場合は回答している。

きちんと投函したものにご意見をいただけるなら安心して投函できる。

イベントを盛りだくさん行っていることが今回よく分かった。親子で参加できるイベントをたくさんしていただいていることをありがたく感じている。もっと集まる企画ができたらいいなと思う。

委員

中学生の14歳の挑戦でいろいろな現場を見てもらった。釈泉寺の笠取の滝に椅子を置いたがテーブルも置いてはどうかとの中学生の意見があり、年内に置く予定にしている。

間伐について目標と実績に大きなずれがある。上市町、立山町、大山町で間伐の事業を進めているが、大山町に材をすべて切ってほしいという家があり、3年計画で昨年は8000haの大規模

伐採を行った。森林組合としては、材の値段上がっているのに、国・県の補助を活用しながら上市町も伐採を進めていきたい。

委員

広報紙を読む町民の割合が 57.3%と数値が低いと感じる。紙だけの数値かインターネットからみれるデータも含めてのものなのか。含めたらもっと高い数値になるのではないかな。

広報誌はイベント情報など重要な情報が掲載されている。小学生等子どもたちにもわかるような広報づくりを検討してほしい。私たちもそれをみながら町のイベントに参加していきたい。

委員

4 月中学生の部活動から認定クラブになった。種目は限られているが義務教育学校になったら小学生も地域認定クラブに入ってもらいたい。

バスケットボールやバレーボールなどプロスポーツが県内にあるので、企業みなさんに支援をいただき、選手を呼ぶイベントを積極的に行い上市町は力を入れていることをアピールをしていけたらと思っている。

地域イベントとして、八村選手が富山県に来られたお祭りのように、プロの有名な選手を招くと、町が盛り上がる。また、県内のグラウジーズ、アランマーレ、アクアフェアリーズなどプロ選手から学べる教室を開くイベントができたらいい。

リレーマラソンでは、一昨年、ロキテクノの選手に参加してもらったが、地元企業でチームとして出てもらえるといい。上市高校もマラソン大会を明日に控えているが、イベントに出て地元企業とスポーツで触れ合ってもらい、地元の企業に入ってもらえるきっかけの一つになってほしい。

丸山は多目的広場の芝生が草が伸びていた。集客できるイベントを開催できれば管理整備の資金も回ってくると思う。

委員

保育現場から、令和 6 年度出生数が 54 人と聞いて大変ショックを受けて、保育園分野はどうしたらいいのか大変心配していた。今年くらいから見学の方がたくさん来られていて、少し安心しながら日々を過ごしている。補助金等配慮をお願いしたい。

委員

初めて参加させていただき、多くの事業に取り組んでもらっていることを計画から感じた。素晴らしい取り組みをしているが、町民一人ひとりには伝わっていない印象があった。今後、参画してさせていただき町の取り組みについて意識していきたい。

金融機関としては、中東問題等ある中、制度融資における利子補給制度、高齢者への助成など町民がお金を借りやすくなることにつながるような施策もお願いしたい。

委員

第 3 期総合戦略の K P I で町内企業へのインターンシップ割合を加えてもらいたい大変ありがたい。最近の子どもは総合的な学習や総合的な探求の時間でいろいろな体験をし、高校に上がって

くるため、プレゼンや意見を発表することは大変上手にできる子が多くなった。一方で、社会性については昔より幼い印象を受けることが多い。町の事業所に行かせてもらい、インターンシップなどの就業体験をさせていただく機会があることが大変ありがたい。昔から子どもたちは家庭で育ち、学校で学び、地域社会で鍛えるという言葉にあるとおり、インターンシップを有効に活用させていただき、目標値 40% よりももっと高いところに設定できるように学校として取り組んでいきたい。

委員

総合計画で特に SDG s に興味を持ち力になっていけたらと思っている。

委員

出生数と人口の社会増減の令和 7 年実績値と第 3 期総合戦略の基準値が異なる。基準値を統一できないか。

(企画課)

総合計画及び総合戦略の概要版の基準値については令和 6 年度と表記をするのが正しいため、令和 7 年から令和 6 年度に訂正します。

進捗評価が「不十分」また「著しく不十分」な指標がいくつかある。目標へ到達するプロセス・具体的な実行プランを練ってほしい。夢は大きく持つべきとは思いますが、非現実的（時間・予算等）な目標には到達できない。到達可能性のある目標設定なのかどうかを含めて検討してほしい。

(副町長)

おっしゃる通りで難しくできない目標を立てても思う。立てた目標については頑張りたいが、今後途中経過でなかなか難しい場合は修正が出てくる可能性もある。貴重なご意見ありがとうございます。

委員

農林関係がほぼ全体的に目標値を達成していることは皆さんの努力に対し感謝したい。

しかし、ネギと里芋出荷数の目標値は大きすぎたと感じている。農協でも計画を立てているがこんな大きな数字ではない。生産者の高齢化や担い手不足で生産者数や耕作面積に影響している。自分が委員なのに見落とし反省しているところ。

空き家が多くなっている。稗田でも空き家件数が昨年度から 27 件になり 1 年前から 3 件も増えている。空き家に入っていただけるよう、補助金を活用し、町外からの移住につなげてほしい。

会長

空き家の話があったが、私の町内会も若干増えた。若年・子育て定住促進補助金は町外からの移住施策だと思うが、上市町内に住んでいてももらえるのか。

町外で建設費の補助等があるので町を出ていくという声をちらっと聞いたので、町内で引越す人が新しい家を建てる場合も対象になるのかお聞きしたい。町内外に住んでいる若い人に情報を届けてほしい。

(建設課長)

町外からの移住促進の制度ではあるが、町内の方も対象としている。制度の周知に努めたい。

(参考)

- ・ゼロエネルギー住宅等促進、地域材活用促進、0円空家バンクは町内者も対象
- ・若年・子育て世帯定住促進補助金は、町内者も対象であるが補助率は町外者の1/2

会議終了の予定時間となったため、議長は意見徴収を終了し、発言できなかった意見については事務局の企画課へ提出するよう委員へ求めた。議長は活発な審議と円滑な議事進行への協力について委員へ感謝の言葉を述べ、議事を終了し、進行を司会へ戻した。

3 その他、閉会

事務局より事務連絡として、配布資料に含まれている「令和8年分審議会 ご意見の連絡用紙」の提出について案内があり、本日の審議内容や調整に関するご意見・ご提案がある場合は、この用紙にご記入の上、会場にいる事務局へ直接渡すようお願いした。また、後日提出する場合は、用紙の下部に記載されているFAX番号または電子メールアドレス宛てのいずれかの方法で送付すること、なお後日メールで提出する際は、用紙の添付またはメール本文に直接ご意見等を入力して送信しても構わない旨を伝えた。

司会者は、以上をもって次第を終了した旨を述べ、閉会を宣言した。